

令和7年度子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人） 文部科学大臣表彰の決定について

1 子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰について

子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動を推進するため、特色ある優れた実践を行っている学校・園、図書館、団体・個人に対し、大臣表彰を行うものである。

2 文部科学大臣表彰の受賞校

東広島市立豊栄中学校

3 功績の概要

東広島市立豊栄中学校では、令和4年度から「豊かに自己を表現する生徒の育成」を目指し、「読書活動を核とした学び」をテーマに、地域、学校、家庭で育てたい子供像や読書活動の考え方を共有し、司書教諭及び学校司書を中心に、持続可能な体制づくりや取組を行っている。

主な取組は以下のとおり。

●読書環境の整備（学校まるごと図書館化）

オープンスペース型の学校図書館の環境整備を進め、「SDGs」、「自然科学」、「英会話」、「G7サミット」など、教師・生徒のおすすめ図書や、時期に応じたテーマ展示を多数設置し、誰もが本を手に取りやすい環境を整備した。

●日常的な読書活動の推進

朝読書、ブックトーク、ポップづくり等に長年取り組み、近年はビブリオバトルも実施し、読書を楽しむ機会を多く設けている。制作した作品は公共図書館にも展示し、表現力の育成にもつながっている。

●教科等と連携した学習活動の充実

単元・題材に合わせた展示や並行読書等を取り入れた学習センターとしての活動を実施している。例えば、総合的な学習の時間「地域の魅力発信」や理科の「生物多様性」等と関連づけた自然科学に関する展示を行い、調べ学習や深い学びを促進している。また、新聞の展示の工夫や、タイピング練習の題材に新聞記事を活用する等、様々な学習の充実につながる取組を行っている。

こうした取組の成果として、1か月に1冊以上本を読む生徒の割合は100%となっている。

4 表彰式

日時：令和7年4月23日（水曜日）13時～

※「子ども読書の日」記念子どもの読書活動推進フォーラムにおいて表彰式が行われる。

場所：独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホールほか